

畜産みやぎ

題字
宮城県知事 山本壯一郎

発行所
仙台市上杉一丁目2番16号
編集 宮城県畜産会
電話 (62-9180)
編集発行人 百井英一
定価 1部60円
印刷所 KK東北プリント



(軽種馬二才駒市場・川渡家畜市場)

もくじ

| | |
|-----------------------|----|
| 肉用牛生産の振興と酪農振興法の改正について | 2 |
| 第2回和牛産肉能力間接検定結果について | 3 |
| 牛受精卵移植事業の紹介 | 4 |
| 牛白血病 | 5 |
| 蔵王酪農センターに | |
| チーズレストラン オープン | 6 |
| ロード交雑鶏の体重制限育成 | |
| 成鶏飼料の適正C.P.水準の検討 | 7 |
| 安定した酪農経営を目指して | 8 |
| 隨想 | 9 |
| 畜産物市況の展望 | 10 |

肉用牛生産の振興と酪農振興法の改正について

宮城県畜産課

肉用牛の振興を図るための措置については、厳しい内外の情勢に対応し得る、安定した肉牛生産を確立するため、独自の立法をという声も一部にありました。現に我が国の牛肉生産の70%を乳用牛が占める等、酪農と密接不可分の関係にあり、これを一体的にとらえて肉牛の振興を推し進めることが国情にふさわしいことから、今回「酪農振興法」を改正し「酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律」が制定されましたのでその背景と大すじについて紹介します。

法改正の背景

昭和40年以降、我が国の肉用牛生産は、規模の拡大が着実に進展する等、農業経営の中で重要な一部門として成長しており、山林原野等の未利用、低利用資源の有効利用、経済の低迷下での農家余剰労力の活用、堆肥による耕土培養、水田利用再編対策による転作飼料作物の活用等、農山村の振興を図るうえで重要な意義と役割を有し、今後の土地利用型農業の基軸として長期的観点に立ち、その振興を図ることが農政上の重要な課題になってきました。又、経済の高度成長以降の食生活の向上と多様化により、農畜産物の多くは、停滞、減少傾向にある中で牛肉の需要は強く、安定的に伸びるものと見込まれますが、世界的な牛肉事情は量及び価格の面で不安定で、中長期的に見ても逼迫傾向にあり、安易な牛肉の海外依存は、食糧の安全保障上からしても好しくなく、酪農と一体化した肉用牛生産を強力に推進し、需要に応じた合理的な生産を行ない極力、国内での安定供給を図って行くことが大切であります。一方、最近の牛肉に対する海外からの輸入枠の拡大要求、安価な牛肉の供給を求める

る消費者の要求等、内外とも厳しい情勢下にあり、今後の肉用牛生産は、赤肉志向の大衆肉の生産、国際競争力に対抗できる低コスト生産等、肉用牛経営の体質改善とその強化が必要とされることから、牛肉生産の振興合理化、流通の合理化等一連の振興方策を講ずるために今回の法改正に至ったのであります。

改正の大すじ

このような肉用牛生産の現状と課題をふまえ、次のような法改正が行なわれました。

- ① 酪農、肉用牛生産振興合理化計画制度の創設
- ② 肉用牛経営に対する資金の貸付措置
- ③ 肉用子牛の価格安定制度の法制化

以上が法案の骨子となっておりますが、要は、現行の酪農近代化計画制度を改め、新たに肉用牛生産を加えた酪農、肉用牛生産近代化計画制度とし、酪農と肉用牛生産を総合的、一体的な振興及び合理化を計画的に進め、本制度によって今後育成すべき担い手の姿を明らかにし、経営改善に対する意欲と能力を有する農家に対して、農林漁業金融公庫から長期、低利の融資が講ぜられる等、積極的な支援が行なわれることになり、具体的には、肉用牛生産の長期性にかんがみ、償還期間を15年から20年以内に、据置期間を3年以内から8年以内にそれぞれ5年延長する等の措置が講じられると共に、肉用子牛生産農家が将来への不安感を払拭し、長期的な観点に立って肉用牛生産の振興、合理化に取り組み得るように肉用子牛の価格安定制度が法制化され、強化充実されたということです。

以上、今回の酪農振興法の改正についてその概略を述べましたが、この法律は、昭和58年5月20日公布され、施行が真近に迫っております。つきましては、肉用牛生産農家も、流通業者も、この制度の目標を十分に理解し、その示す方向に向って努力され、牛肉を通して安定した豊かな生活を望んでやまない次第であります。

(肉畜係・齊藤)



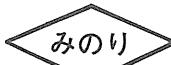
さわやかに 健やかに

あいしさいっぱいの牛乳で
今日もいきいき——

森永ハイカラ牛乳

宮酪乳業株式会社

名取市飯野坂五丁目1番3号
電 (02238) 4-5181

飼 料 は みのり

採卵鶏用配合飼料
プロイラー用配合飼料 肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号
TEL石巻 0225 (95) 4171~4

第2回和牛産肉能力間接検定 結果について

宮城県岩出山牧場

はじめに

今回の検定種雄牛は、畜産試験場繫養の星花・土井錦・第二富惣・岩波で、これらの息牛(去勢)10頭を1セットとし、全和登の間接法に基づき、昨年3月に開始し、本年3月終了したので、その成績概要を紹介します。

検定成績の概要

検定成績は表1に各セットの平均値でしめしたが、増体量ではいづれも300kgを下回り、1日平均増体量は44週までは第二富惣を除き0.8kg台にあったが終了時点では各群とも0.7kg台となった。

T D N要求率は星花と岩波が7kg以下であった。

枝肉量および歩留りでは岩波がトップで星花がこれに次ぎ、ロース芯サシでは土井錦・第二富惣がそれれ+3.3をしめし、岩波の+3.1がこれに次いだ。

ロース芯面積では岩波が55cm²と優れていた。

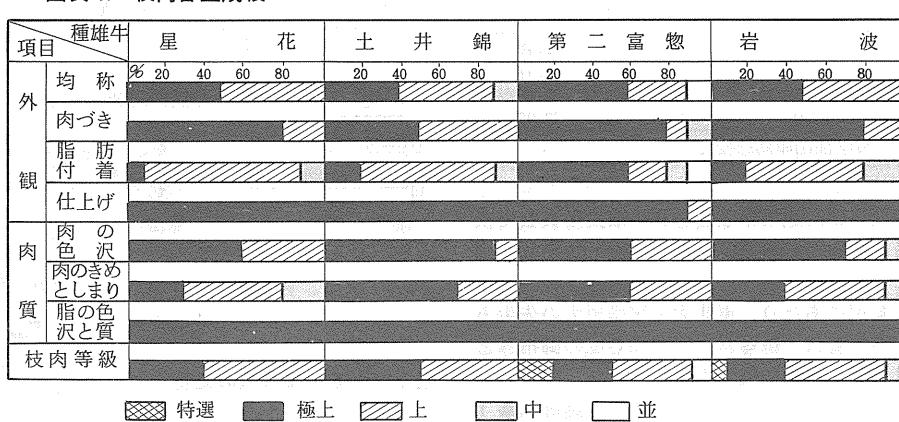
枝肉等級(格付)ではいづれも90%以上の上物率でセット間に顕著な差がなかった。

枝肉の外観および肉質は図表1にしめすとおり、均

図表1. 枝肉審査成績

表1. 検定成績(各群平均値・検定日数364日)

| 検定種雄牛 | 星花 | 土井錦 | 第二富惣 | 岩波 |
|-----------------------|----------------------------|--------------|--------------|------------------|
| 開始時日令 | 267.8 | 253.0 | 265.2 | 259.3 |
| 開始時 | 231.1 | 233.0 | 249.1 | 252.0 |
| 44週時 | 491.9 | 478.7 | 483.5 | 503.8 |
| 終了時 | 519.6 | 505.0 | 505.7 | 531.8 |
| 44週間 | 0.85 | 0.80 | 0.76 | 0.82 |
| 全期間 | 0.79 | 0.75 | 0.70 | 0.77 |
| 濃厚飼料 | 2,209 | 2,218 | 2,164 | 2,173 |
| 粗ワラ | 221 | 222 | 216 | 217 |
| 乾草 | 551 | 438 | 505 | 578 |
| 飼合計 | 772 | 660 | 721 | 795 |
| 粗飼料摂取量% | 26 | 23 | 25 | 27 |
| 濃厚飼料 | 7.66 | 8.15 | 8.43 | 7.77 |
| 粗飼料(乾草換算) | 2.68 | 2.43 | 2.81 | 2.84 |
| D C P | 0.90 | 0.93 | 0.98 | 0.92 |
| T D N | 6.80 | 7.03 | 7.42 | 6.97 |
| 終了時体格得点 | 79.8 | 79.8 | 79.7 | 79.9 |
| 終了時体重 | 519.6 | 505.0 | 505.7 | 531.8 |
| 屠殺前体重 | 492.7 | 479.9 | 481.9 | 509.2 |
| 枝肉量 | 318.0 | 307.1 | 307.0 | 330.0 |
| 枝歩終了時 | 61.2 | 60.8 | 60.7 | 62.0 |
| 肉留屠殺前 | 64.5 | 64.0 | 63.6 | 64.8 |
| 皮筋厚 | 17 | 8 | 20 | 21 |
| 胸 | 29 | 5 | 23 | 25 |
| ロース芯サシ | +2.8 | +3.3 | +3.3 | +3.1 |
| ロース芯面積cm ² | 52 | 52 | 51 | 55 |
| 特選 | — | — | 2 | 1 |
| 極上 | 4 | 5 | 3 | 3 |
| 上 | 6 | 5 | 4 | 5 |
| 中 | — | — | — | 1 |
| 並 | — | — | 1 | — |
| 総合判定 | 110点 A-D=3.6 | 107点 B+D=4.8 | 106点 B+D=4.4 | 110点 A-D=6.4 |
| 備考 | 父富光 母の父第 十六天賀 谷の6 | 父富光 母の父 | 父富光 母の父 | 父富光 母の父 中昭 |



■ 特選 ■ 極上 ■ 上 ■ 中 ■ 並

畜産公害を追放する
家畜糞尿処理工事
さく井工事
ポンプ工事
水処理工事
株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地
電話 (0222) (93)2461

いつもフレッシュ!!



称、肉づきで土井錦がやや劣り、肉の色沢と肉のきめ・しまりでは他のセットより優れていた。

遺伝的能力に関与する母方の血液割合は表2のとおりで全般に兵庫系の血液が高かった。

各群の個体別検定成績について東北大学に分析処理

表2. 間接被検定母牛平均血液割合 (%)

| 種雄牛 | 兵庫 | 広島 | 島根 | 岡山 | 鳥取 | 鹿児島 | その他 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 星花 | 35.0 | 12.5 | 15.0 | | 12.5 | | 25.0 |
| 土井錦 | 15.0 | 12.5 | 45.0 | | | | 27.5 |
| 第二富惣 | 27.0 | 22.5 | 5.0 | 20.0 | | 10.0 | 15.5 |
| 岩波 | 35.0 | 25.0 | | 25.0 | | | 15.0 |

註) 東北大学農学部で分析

をお願いし、昨年4月和牛改良委員会で採用決定した表3にしめた「各形質に対する重みづけと指指数式」をとり入れた種雄牛指指数値は表4であり、各形質とも岩波が優位であった。

表3. 各形質に対する重みづけと指指数式

| 指指数式No. | 1 日平均 増量 (X ₁) | 肥育 交配 (X ₂) | 防歯 面積 (X ₃) | 指 数 式 |
|---------|----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|
| I (1) | 1 | 1 | 1 | $I(1)=14.1452x_1+2.3793x_2+0.2186x_3$ |
| I (3) | 2 | 1 | 2 | $I(3)=28.0861x_1+2.4119x_2+0.4335x_3$ |
| I (6) | 1 | 1.5 | 1 | $I(6)=14.1577x_1+3.5564x_2+0.2180x_3$ |

註) 東北大学農学部山岸助教授提供

表4. 種雄牛別指指数値

| 種雄牛 | I (1) | I (3) | I (6) |
|------|-------|-------|-------|
| 星花 | 29.20 | 51.92 | 32.48 |
| 土井錦 | 29.61 | 51.55 | 33.47 |
| 第二富惣 | 29.12 | 50.58 | 32.98 |
| 岩波 | 20.29 | 53.40 | 33.92 |

註) 東北大学農学部山岸助教授提供

おわりに

検定成績ならびに選抜指指数値を和牛改良委員会で検討した結果、新らに本県基幹種雄牛として岩波が選抜された。

第2回の検定にあたり、東北大・宮農短大の先生方をはじめ、県・畜試・畜連および関係各位の御指導と御協力に対し深く謝意を表します。

(高橋和幸)

発育促進・食欲増進・栄養補給に
ビタミンミルク
ビタミン・ミネラル総合飼料添加剤

日本全薬工業株式会社

医薬品総合商社
動物用薬品、器具機材

SENJUDO

株式会社 **山田仙寿堂**
取締役社長 山田修造

本社/仙台市木町通1丁目5番19号
電話/0222633151(大代表)
営業所/古川・石巻・氣仙沼・盛岡・水沢・山形・米沢

牛受精卵移植事業の紹介

宮城県畜産試験場

最近、受精卵移植という言葉を新聞やテレビで耳にすることが多くなっている。

今回、昭和58年度の新規事業として、宮城県において牛受精卵移植が開始されることになったので紹介する。この事業は黒毛和種雌牛から多数の受精卵を回収し、ホルスタイン種雌牛に移植することで、乳用牛からの肉用牛の増産及び肉用牛の育種改良年数の短縮化等を目的として行なう。

牛受精卵移植による仔牛の生産は、1951年ウイレット博士(英国)によって成功して以来、活発に研究が行われ、初期の段階では主に外科的に牛受精卵の回収・移植が行われていたが、現在は非外科的な牛受精卵の回収・移植が主に行われるようになった。

1. 牛受精卵移植技術

牛受精卵移植を達成するため、主に次の各段階を経て実施される。その概要を図1に示した。

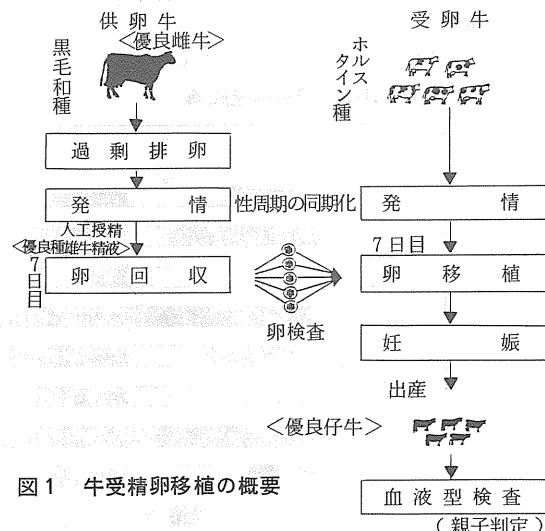


図1 牛受精卵移植の概要

- 1) 供卵牛の過剰排卵誘起
- 2) 供卵牛から受精卵を回収
- 3) 受卵牛の発情の同期化
- 4) 受卵牛へ受精卵を移植

以上、各項目について説明を加える。

1) 供卵牛(卵子を回収する牛;本事業では黒毛和種を用いる)の過剰排卵誘起

牛は单胎動物で、普通、1個の卵子しか排卵しないが、ホルモン剤によって、5個以上の卵子を排卵させることも可能である。ホルモン剤としては、まず、妊娠馬血清性腺刺激ホルモン(PMSG)または卵胞刺激ホルモン(FSH)の投与で卵胞の発育を促進させ、次いで、黄体退行作用を有するプロスタグラジン $F_2\alpha$ (PGF $_2\alpha$)を投与する方法が有効である。PGF $_2\alpha$ の投与後、引き続いて生じた発情時に人工授精を行なう。

2) 供卵牛から受精卵を回収

人工授精後7日目にバルーン・カテーテル(風船付ゴム整尿道管)を子宮に挿入し、子宮内を灌流液で洗浄し、牛受精卵を回収する。牛受精卵の大きさは約100μで顕微鏡によって検索し、検査する。この時期の牛受精卵は桑実期または胚盤胞の発生段階にある。

3) 受卵牛(受精卵を移植される牛;本事業ではホルスタイン種を用いる)の発情の同期化

牛受精卵は、人工授精後、7日目に供卵牛の子宮から回収されるが、移植される受卵牛についても発情が供卵牛のものと同じでなければ受胎しないので、供卵牛と同一の日に発情を示した牛かホルモン剤によって供卵牛の発情に同期化された牛を受卵牛として用いなければならない。

4) 受卵牛へ受精卵を移植

移植のため、牛受精卵を牛精子凍結保存用ストローに封入する。次いで、受卵牛の黄体を有する子宮側に、ストローを装着したフランス式人工授精器カスーガンを頸管経由し挿入し、牛受精卵を注入する。

2. 宮城県における牛受精卵移植事業のシステム

上記の牛受精卵移植技術を用いて、宮城県下において、高能力肉用牛の受精卵を移植するが、牛受精卵の回収及びストローへの封入は、センターである県畜産

試験場で行ない、牛受精卵の移植は、サブセンターの獣医師が行なう。分娩した仔牛は血液型検査によって親子関係を調べ、血統登録される。

3. おわりに

今回実施する牛受精卵移植事業では、受精卵回収・移植に時間的制約が加わるため、受精卵を輸送する範囲は比較的近距離である。今後の方向として、宮城県の全域に牛受精卵を配布し移植するためには、牛受精卵の凍結保存技術の確立が望まれる。

(研究第1部・堀内俊孝)

牛白血病

石川勇志

牛白血病(牛リンパ肉腫)とは牛に多発するリンパ系の腫瘍性疾病の総称である。本病は成年型、子牛型、胸腺型および皮膚型の4つの病型に分けられる。このうち成年型は流行型牛白血病とも呼ばれ、牛白血病ウイルスが原因とされ特定の地域で多発する傾向にある。

子牛型、胸腺型および皮膚型は散発型牛白血病とも呼ばれ、現在のところ原因は不明で、流行的に発生することもない。

原因・発生

本病のうち特に家畜衛生上問題となるのは成年型牛白血病である。この原因とされる牛白血病ウイルス(BLV)は血液(リンパ球)内に存在し、吸血昆虫などがBLVを含んだ血液を健康な牛に移すことにより伝染する。感染様式として、妊娠中に感染母牛から胎児が感染する場合(垂直感染:約20%)、生後感染する場合(水平感染:約80%)がある。感染して発病するまでに数ヶ月から数年、ときにはそれ以上を要する。

わが国では昭和2年岩手県での輸入牛の発生が最初で、最近では青森、岩手、新潟、岐阜および大分の特定地域で多発(10万頭あたり18~30頭)し、次第に全国的な蔓延の様相を呈している。一方、散発型牛白血病の発生は散発的であり、発生が少いため不明な点が多い。

県内での発生状況は表に示すとおりである。

くみあい動物用ビタミン剤

- * 健康保持と体力向上
ビタミン水溶散 (鶏・牛)
タルマン (子豚~種豚)
- * ビタミンA・D₃・E水溶剤
アデーツル (鶏・豚・牛)
- * 総合ビタミン・ミネラル剤
くみあい V M (鶏・豚)
(ワイム)

 農協・宮城県経済連・全農

動物用薬品器材のことなら 古い伝統
と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL ⑨ 7330・7338・7339

仙北営業所 登米郡迫町佐沼萩洗1

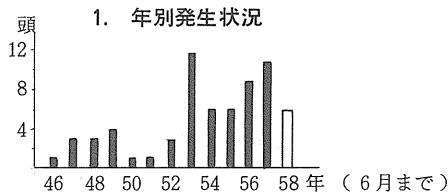
02202 (2) 2278~9

山形営業所 山形市小石川四丁目9~24

0236 (23) 9909・9900

古川営業所 遠田郡小牛田町字閑根館野28

02293 (4) 2018~9



2. 年齢別発生状況

| 年齢 | 1才以下 | 2~3才 | 4才以上 | 不明 | 計 |
|----|------|------|------|----|----|
| 頭数 | 8 | 14 | 35 | 9 | 66 |

3. 地区別発生状況

| 地区 | 大河原 | 仙台 | 古川 | 迫 | 築館 | 石巻 | 他 (含不明) |
|----|-----|----|----|----|----|----|------------|
| 頭数 | 2 | 8 | 22 | 13 | 8 | 3 | 10 |

4. 病型別発生状況

| 型 | 成牛型 | 子牛型 | 胸腺型 | 皮膚型 | 不明 |
|----|-----|-----|-----|-----|----|
| 頭数 | 28 | 4 | 4 | 1 | 29 |

本県のBLV抗体保有率はほぼ5%前後と考えられるが、一部では非常に高率を示している地域も認められる。

症 状

一般に長い潜伏期(不顕性期)の後、元気・食欲の不振、発熱、削そう、泌乳量の減少、繁殖障害、下痢、リンパ節の腫大、眼球突出、末梢血液中の腫瘍(白血病)細胞の出現など種々の症状を示し、ついには死亡する。また、分娩の前後に発生することが比較的多いようである。

診 斷

1) 臨床・病理学的な方法、2) 末梢血液検査による方法、3) BLV抗体の検出および4) BLVを検出する方法がある。

予防・治療

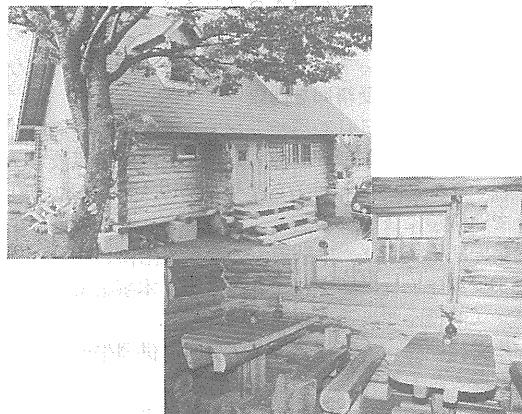
牛白血病に対する治療法は無い。

流行型牛白血病はBLVの伝播によって感染を拡大していくので、現在最も有効な予防対策はBLV感染牛の淘汰ないし隔離である。

(仙台家畜保健衛生所・病性鑑定課)

蔵王酪農センターに
チーズレストラン オープン

国産ナチュラルチーズの普及を目指して、蔵王酪農センターに製造実験、研修施設が誕生してから3年になる。今ではクリームチーズなどソフト系のチーズを中心に、月15トンを生産し、広く県内外に出荷している。センターでは、これらナチュラルチーズを使った料理を家庭でつくってもらうためには、実際に食べてもらう必要があるとして、今年始めからチーズレストランを、オープンしている。



このレストランは、丸太造りのヨーロッパの山小屋風のがっかりしたもので、チーズ料理にはぴったりの雰囲気をもっている。エコーラインの帰りなど“御家族連れでどうぞ”とPRしている。ちなみに主なメニューは次のとおり。

| | | |
|---------|-----|------|
| チーズドリンク | 1人前 | 300円 |
| チーズケーキ | " | 300円 |
| チーズポテト | " | 300円 |
| チーズパイ | " | 350円 |
| ピザ・パイ | " | 450円 |
| チーズドリア | " | 700円 |

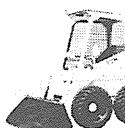
(大河原家畜保健衛生所 細谷 光)

WORLD ウールド サンシャイン

株式会社 五十嵐商会

仙台市卸町五丁目1番地4
電話(022)96-2525(代表)

TCM東洋アグリロード



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

**TCM東洋運搬機株式会社
東北ティー・シー・エム株式会社**

983 仙台市日の出町3丁目9-35
電話 022-95-5511~5517

<畜試便り>

ロード交雑鶏の体重制限育すと成鶏飼料の適正CP水準の検討

荒川和彦

1. 目的

寒冷地に適合するといわれるロード交雑鶏10月びなを用い、育すう期飼料のコントロールによる体重制限と、成鶏期飼料の適正CP水準をみるため、下記により試験を行った。

2. 試験方法

(1) 試験期間 56年10月～58年6月 (3) 供試鶏 ロード交雑鶏
(2) 試験期間 609日 (4) 試験区の構成

| 項目 | | 育成期 | 点灯処理 | 産卵期 | 摘要 |
|-----|---|-----------------|--------------------|-------------------------|----------------------|
| 区分 | | (1~22週令) | | (23~87週令) | |
| 対照区 | 1 | 2段階切替 +不断給餌 | 120日令より14時30分一定とした | 14~66 16~66 18~66 | 産卵期のI期間を13週としIV期間とした |
| | 2 | " | | | |
| | 3 | " | | | |
| 試験区 | 4 | 2段階切替 +70%制限 | | 14~66 16~66 18~66 | |
| | 5 | " | | | |
| | 6 | " | | | |

3. 結果と考察

(1) 育成期

体重は試験区の70%になるよう制限を行ったが22週令で対照区の71.7%となり計画通り制限出来た。

表1. 体重及び飼料要求率等

| 区別 | 1羽当採食量 | 餌付時体重 | 増体重 | 飼料要求率 | 育成率 | 22週令体重 |
|----------|-----------|--------|---------|-------|------|--------|
| ④ 不断給餌区 | kg 11,980 | g 34.4 | g 1,673 | 7.16 | 95.6 | 1,707 |
| ⑤ 70%制限区 | 7,447 | 34.4 | 1,190 | 6.26 | 88.8 | 1,224 |

試験区の飼料給与量は、対照区の62.2%で1羽当たり4,533gの節減となった。なお、育成期の飼料摂取量の経過は図1の通りである。

育成率は対照区95.6%，試験区88.8%であった。

(2) 産卵期

① 初産日令は、対照区が平均144日令、試験区が166

日で試験区は22日のおくれであった。

② 初産卵重は、試験区が明らかに重くCP水準による差は認められなかった。

③ 産卵率・試験区・対照区の比較では産卵開始のおくれた試験区がわずかに低かった。

またCP水準でみると18%区の産卵が高かったが、これは産卵のピークが盛夏季の食欲減退と重なり、低レベル区のCP摂取量が不足した結果と考えられる。

表2. 区別、CPレベル別平均産卵率

| 期間 | I | II | III | IV | I~IV | 摘要 |
|---------|------|------|------|------|------|-----------|
| 対照区 | 88.2 | 83.8 | 77.0 | 70.3 | 80.2 | I期は13週とした |
| | 76.6 | 84.6 | 78.2 | 69.7 | 77.3 | |
| CP 14%区 | 82.2 | 82.5 | 75.4 | 68.7 | 77.6 | |
| | 81.5 | 82.8 | 76.9 | 69.2 | 77.7 | |
| | 83.6 | 87.3 | 80.5 | 72.2 | 81.0 | |

④ 卵重、平均卵重は試験区がI.II期で重かったが、III.IV期では対照区が重かった。なお4月びなの試験では全期間にわたり試験区が重かったが、今回の10月びなではIII期以降の残暑による産みづかれが体重の軽い試験区に強く影響したものと考えられる。

⑤ 飼料要求率は試験区が僅かに高くなっているが、II期以降は何れも試験区は低くなっている。これは試験区の産卵のおくれがI期の要求率を高くしII期以降でカバーしきれなかったものである。

表3. 期別飼料要求率

| 期間 | I期 | II期 | III期 | IV期 | I~IV期 |
|---------|------|------|------|------|-------|
| 対照区平均 | 2.50 | 2.26 | 2.43 | 2.79 | 2.49 |
| | 2.80 | 2.21 | 2.37 | 2.78 | 2.52 |
| CP14%平均 | 2.72 | 2.33 | 2.48 | 2.85 | 2.58 |
| | 2.63 | 2.25 | 2.42 | 2.85 | 2.52 |
| | 2.61 | 2.13 | 2.31 | 2.66 | 2.42 |

4. 要約

育すう時の体重制限は70%程度であれば充分実用的となるが、CP水準は採食量との相関があり一定水準では、過不足が生ずることが考えられる。

(研究第二部・養鶏科)

牧場用柵には
強くて美しくスマートな
東伸製鋼柵を!

製造元 東伸製鋼仙台営業所
仙台市一番町二丁目7-5 TEL 277053
販売元 塚本商事機械株東北出張所
仙台市花京院二丁目1 TEL 627771
代理店 本山振興株式会社
仙台市昭和町6番10号 TEL 646221

糞尿処理メーカーの糞尿専用

ヒドロポンス

マイティシリーズ
スラリーポンプ
ショッパーポンプ
ノンクロポンプ
ヒドロススプリン



ヒドロポンプ 発売元

株式会社 **東北加藤**

〒983 宮城県泉市南光台二丁目22番15号
TEL. 0222-74-0781 (代表)

安定した酪農経営を目指して

02234-6-2355

仙台市街地より北へ約20km、標高180mの丘陵地に位置する黒川郡大和町小野地区において、酪農を営む佐藤文憲さんを紹介します。

佐藤さんは、昭和49年酪農を基幹とする稻作との複合経営を目指し、以後、順調に推移するなか、昭和54年生乳計画生産が始まり、割当乳量オーバーによる厳しいペナルティーを課せられるなど、七転八倒の苦難を乗り越え、現在では、経産牛27頭、初妊牛8頭、育成牛5頭計40頭を飼養している。

飼養条件は、経営能力に合わせ、適性規模を基本に牛群の改良に努めることを第一としている。

種雄牛の選定は、能力を主体に検定済種雄牛を中心とし、選抜淘汰は、生後6ヶ月令までに体型発育に重点を置き、1産次の産乳量が5,500kg以下の牛は、2産次の乳量を再確認してから淘汰している。

その結果、今では経産牛1頭当たり産乳量7,000kgの大台に達し、安定した能力を発揮するまでに至り、また、後継牛としての育成牛は、健康で足腰の強い長持ちする牛を育てるため、毎年預託放牧しており、その余剰労力は、乳牛の管理と粗飼料生産に向いている。

飼料栽培面積は、草地造成を図りつつ転換田の借入れを積極的に行い、現在では、865a(内借地560a)まで拡大され、更に、生産効率を高めるため、土地の集積化を目指している。

肥培管理は土壤分析をもとに糞尿の過不足のないようにする他、溶磷、石灰などの施肥により反収の増大を図り、その利用は、乾草を主体とした年間平衡給与体系としている。

しかし、昨年は特に冷夏、雨天が続き、乾草調整も思う様に行かず、平均収量2,566kgの低収となり、今

後の利用体系が課題である。

昭和57年の経営成果は表1のとおり経産牛1頭当たり産乳量7,241kg、受胎に要した種付回数1.46回、平均分娩間隔13.6ヶ月と高い技術水準で、経営能力はもちろん、永年の改良成果が十分うかがえる。

表1. 経営成果

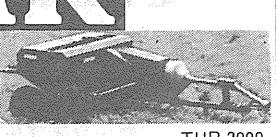
| 項目 | 数值 |
|------------------------|-----------|
| 年間産乳量 | 196,960kg |
| 経産牛1頭当たり産乳量 | 7,241kg |
| 受胎に要した種付回数 | 1.46回 |
| 平均分娩間隔 | 13.6ヶ月 |
| 牧草・飼料作物10a当たり平均収量 | 2,566kg |
| 乳飼比(育成分合む) | 41.2% |
| 牛乳100kg当たり生産原価(第一次生産費) | 7,316円 |
| 所得率 | 24.8% |

今後の課題としては、①更に牛群の改良に努め、現在の厳しい酪農情勢を克服するためにも、少数精鋭とし経産牛1頭当たり産乳量8,000kg、強健、連産性、飼料効率に富む高能力牛を目標として、牛群検定による個体能力検定成績を基礎に、検定済種雄牛の計画交配と選抜淘汰を進める。②3年続きた冷害を踏まえ、絶対的な良質粗飼料の確保で、地域農家との連携をさらに密にし、転換田の長期借入れ、共同牧野の改良を進めるほか、共同機械化体系の確立による粗飼料生産の合理化、コストの軽減並びに良質乾草、稻わらの確保に努める。③現在、県酪連で実施しているヘルパー制度を積極的に活用し、研修会への参加、家族旅行など学習と休養を有効に図り、奥さんと2人で急がず、確実に、経済的にゆとりをもって頑張りたいとの事です。

以上、概要について紹介したが、酪農経営に対する姿勢は常に前向きで、今後、地域の良きリーダーとして益々成長発展するものと、我々は大いに期待するものである。

(畜産会)

システム農業をクリエイトする
STAR



タフで働きものの
Mr. 3000 牧草梱包
Mr. 2000 稲わら梱包

THB 2000

スター農機株式会社
仙台営業所 983 仙台市福田町2丁目4-20 佐正ビル内
TEL 0222-58-7301

畜産の健康と未来に貢献する

獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市二枚橋第一地割296-5
TEL 0198 264151代)

古川営業所 宮城県古川市稻葉字大江向179-1
TEL 02292 (3)8888代)

| | | |
|--------|-------|-------|
| 花巻営業所 | 水沢営業所 | 青森営業所 |
| 盛岡営業所 | 大館営業所 | 八戸営業所 |
| 大船渡営業所 | 横手営業所 | 山形営業所 |



牛肉礼讃

いま生鮮食料品のなかで最も消費が伸びているのは牛肉である。他の食品が軒並み伸び悩んでいるなかで、年率6%近く伸びている。もっとも日本人の1人当たり年間牛肉消費量は3.5kg(55年)と国際水準からみると極端に少ない。食生活の違いもあるが、世界一はアルゼンチンの62kgであるから日本の約18倍、生産国アメリカ、豪州は10倍の35kgとなっている。大体日本における食肉消費の割合は豚肉中心であるが、最近牛肉のシェアは高まって17%までに上ってきている。これも西高東低で西日本は牛肉型であるのに対し、東日本は豚肉型のパターンが続いている。

なぜ牛肉の消費が他の食品より高いかというと、なんといっても牛肉の栄養価が高く、しかも料理の仕方が豊富でおいしい味をいろいろ楽しめるからだと思う。

もともと日本人は米を主食に魚を食べて肉はあまり食べない国民であったが、明治になって西洋文化にふれるようになって積極的に食生活に取り入れてきたのであるが、今日ではもはや日本人に欠くことの出来ない良質の蛋白食品となっている。

寒い国人や、エスキモーが肉を沢山食べるのも1つは、肉の蛋白質が体をあたためることから寒さに対する防御の知恵といわれる。又スタミナをつけるのも蛋白質であり、同じ仕事でも、スポーツでも残念ながら日本人は欧米人からみればスタミナの点で大きな差をつけられている。昭和39年に開催された東京オリンピックの時参加選手1人1日500gの食肉が用意されたが、そのうち8割は牛肉であった。日本を含めたアジアの選手は毎日食べ切れなかったが、欧米の選手は殆んど消化したといわれる。それが金メダル獲得数を左右したと當時何かに書いてあった。

畜産食品で蛋白質の最も多いのはチーズで100g中25.2g、次が牛肉21g、豚肉16.7g、卵12.7g、牛乳

2.9gとなっているが、牛肉には良質の蛋白質が多く含まれており、しかも必須アミノ酸が豊富で外の食品の蛋白質の不足分を補って、一層有効なものにするから、スタミナ源としては最高だと思う。どうも近頃活力がなくなったと思う人は、霜降り肉でなくてもよいから赤身の肩ロースあたりを200g位(500円位で買える。)を焼肉にして食べれば元気回復まちがいないである。

いま成人男子が1日に必要とする蛋白質量を1つの食品で摂ると仮定した場合、牛肉では350g、豚肉430g、卵12個、牛乳14本ということである。牛肉は食べられる量であるが、他のものは1日ではとても無理な量である。

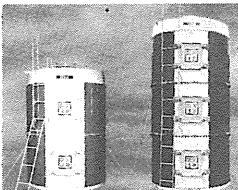
ところで、すき焼・天丼・しゃぶしゃぶ・煮込みといった水を使う日本の料理法では、肉の中の蛋白質が熱のため固まるので硬くなり易いが、霜降り肉だと中の脂肪が蛋白質の凝固を防ぐので少々煮ても柔かく食べられるのである。このようなことから和牛は日本的に改良され、霜降り肉生産を重点にするようになったともいえる。

しかし、最近の消費傾向では「焼肉、バーベキュー」がトップで、すき焼、しゃぶしゃぶのランクは下がって来ている。最近の外食調査の結果をみても肉料理の中では牛肉が73%と圧倒的に多く、その内容はステーキが54%と最も多く、次いでハンバーグ30%と、この2つで大半を占めている。このことは従来と違って赤身肉へと嗜好が変ってきてることを示すものであり、日本型食生活が定着しつつある現在、脂肪摂取過多に注意するということもあるだろうが、一般消費者にとって実質所得が伸び悩んでいる昨今、いま牛肉に求めているものは赤身肉をもっと安くということに尽きるのではないかだろうか。

ともあれ、それぞれの食肉について選んだ理由をアンケート調査では「おいしいから」という理由で選択しているのが67.5%が牛肉という結果が出ている。

(宮城県農政部畜産課長 星 卓二)

※ 肉用牛の飼養には非サイレージを
※ 信頼性の高いステンレス気密サイロ



オリオン ミニスター

OSM-10 10m³
OSM-15 15m³

オリオン機械株式会社

仙台営業所 仙台市六丁目 TEL 94-0691代
仙北出張所 藥館町字久伝 TEL 2-9242
仙南出張所 大河原町幸町 TEL 3-3355



飼い上手 育て上手は……
みのたに……で

動物薬品・獣医器具総代理店

株式会社 美濃谷



本 店 山形市蔵王成沢字町浦491-2 TEL 093121
山形店 仙台市山田字羽黒堂5番216 TEL 094306
仙 台 店 鶴岡市大字布目字東通り57~1 TEL 090963
鶴 岡 店 いわき市常磐湯本栄田3 TEL 0246440300
いわき店

畜産物市況の展望

豚肉 農水省の予測による8月の全国肉豚出荷頭数は1,571千頭(前年同月対比103%)である。

消費は、夏場需要に向うことなどから好転するが、8月以降の枝肉相場は、小幅ながら下げの方向にある。

本年後半国産肉豚出荷頭数がかなり増加する傾向およびデンマークからの輸入解禁の時期により、今後の枝肉相場が注目される。上物基準730~740円台か。

牛肉 7月以降、東京・大阪市場とで多少品種別出荷傾向の違いが見込まれるもの、全国的にはほぼ潤沢と思われ、東京市場における和牛の出荷は、前年対比5~6%増と予測される。

一方、需要は夏場の本格的焼肉需要期を迎えること、ボーナス支給が一巡し、消費者の購買意欲が高まっていること等から市況は好転し、小幅ながら上げとなる。和牛(去)上物2,150~2,200円、中物1,800円中心、乳牛(去)中物は1,300円中心の動きか。

食鳥 8月の出荷は、5,651万羽(前年比110%)と大幅な増加が予想される。消費は、需要期を迎える程度は期待できよう。

上旬から中旬にかけて、堅調な価格推移が予測され、全農相場で、と体大型300円、正肉は680円程度か。

鶏卵 夏場の産み疲れと餌付羽数抑制運動の効果が表われ、産卵減から出荷量の調整が進み、消費もゆるやかに回復となろう。M基準240円台まで回復か。

飼料配合飼料価格は7~12月期、全国平均トン当たり3,500円の値上げとなったが、この主因は主原料相場の高騰によるものである。その後の相場展開は1時に軟調推移をしたが、新穀作付後の天候不順と米国の国内需要増大により強気配になっており今後の相場展開が注目される。一方、外国為替と船運賃等は当面現状の展開が予想されることから期中に配合飼料価格改定の可能性は少ないものと予想される。なお、価格値上りに伴う配合飼料価格安定基金の補填は7~12月トン当たり3,500円に決定されている。

(宮城県経済連 食肉養鶏課 桜井)
" 飼料課 石井)

“加美グリーンで豊かな土づくり”を

(製品届出番号=宮城県第731号)

名 称 加美グリーン

成分内容 本品は鶏糞等を高温度発酵させたもので、どの作物に使用されてもいい害はありません。この施用により土壤pH8.6が保たれますので土壤改良資材として最適です。(水分30% N 2.60% - P 6.18% - K 3.19%)

包 装 1袋15kg(バラ販売可)で米状のため機械散布可能。

単 価 300円/袋(卸売270円) バラ1t 17,000円
製 造 加美コンポスト利用組合(加美郡色麻町黒沢字切付70) (TEL 02296(5)-4336)

宮城県牛乳普及協会からのお知らせ

只今、妊娠婦の方に牛乳を特別価格でお届けしております。



お申し込みについては、下記のとおりです。

お申し込みいただいた月の翌月1日から2ヶ月間200ml入りを毎日1本、通常の家庭配達価格から20円引きでお届けします。

更に、200ml6本分の飲用券をプレゼント致します。

●対象 妊娠中、又は出産後1年以内の方。

●お申込み期間 昭和58年7月1日から昭和58年12月31日まで。

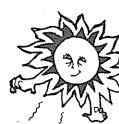
●お申込み方法 母子健康手帳をご持参の上、お近くの家庭配達をしている牛乳販売店にお申込み下さい。

●お問い合わせ先 宮城県牛乳普及協会
TEL 0222(63)7688

尚、ご近所に妊娠婦の方がおられる場合は、このキャンペーンをお知らせ下さる様、お願い申し上げます。

“川柳”

畜産課 山本 たみ



燃える

燃える陽が欲しくて稻の穂がすねる
週刊紙燃える記事だけよく読まれ